

進学編

志望校選択から入学試験まで

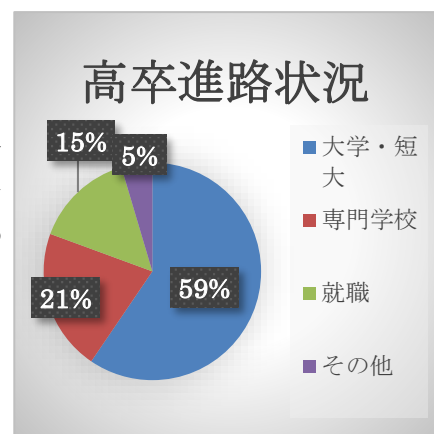
1. 志望校選択(大学・短大・専門学校)の基礎知識

少子化に伴い、入学希望者数が入学定員を下回る「大学全入時代」が進む一方で、特定の学部・学科に人気が集中しています。それだけに、自己の「興味」「適性」「能力」に合った志望校選択がさらに重要性を増してきました。よりよい選択のためにも、システムなどの特徴を理解するとともに、

①学びたい学部・学科は何か。

②取得できる資格は何か。

という点から、より早期により具体的に考える必要があります。



《高等教育機関(大学・短大・専門学校の違い)》

	修業年限						学位(称号)	目的
	1	2	3	4	5	6		
大学	6年制…医学・歯学・薬学・獣医学部など						学士	知識 教養 ↑ ↓ 実務 実用
	5年制…2部・夜間部など							
	4年制…人文・社会・自然科学部など							
短大	3年制…医療・看護など						短期大学士 準学士	
	2年制…人文・社会							
専 門 学校	4年制…大学との併修可能校など						専門士	
	3年制…医療・看護など							
	2年制…技術系							

2. 志望校の調べ方について

志望校選びには正確で役立つ進路情報が必要です。上手に集めるためには、以下の3つの方法が有効です。

(1) インターネット・各種メディアを利用する

近年、ほとんどの大学・短大・専門学校がインターネットや携帯電話による情報サービスを提供しており、一番正確な情報となります。各校のホームページは必ず確認してください。各校の資料・願書請求もHPから行うことができます。

また、以下のような進学情報雑誌社のウェブサイトからも有効な情報を得ることができます。

- Benesse マナビジョン <http://manabi.benesse.ne.jp/>
- 旺文社パスナビ <http://passnavi.evidus.com/>
- リクナビ進学 <http://shingakunet.com/>など。

(2) 「進学相談会」「学校見学会(オープンキャンパス)」を利用する

複数の大学・短大・専門学校が合同で行う学外での進学相談会や校内で年に2回行われている分野別進路ガイダンスでは、大学案内などの資料が一度に入手できます。大学進学希望者は当然のこと、優良校選択が難しいとされる専門学校進学者は、「学校見学会(オープンキャンパス)」等を利用して、必ず複数の学校を見学し進学希望先を絞っていきましょう。昨年はコロナ禍ということもあり、オンラインによるオープンキャンパスも実施されるケースが見られました。

(3) 進路指導室を利用する

各大学・短大・専門学校の学校案内や受験情報誌の閲覧ができるほか、進学相談・入試過去問題の入手等、進学・就職に関する最も身近な情報基地です。大いに利用してください。

3. 最近の入試傾向キーワード

《四大》 ・大学の二極分化(数年後には、募集人員＝18歳人口)

- ・理系の資格取得系統学部人気
- ・保健衛生学系統は志願者増
- ・安定志向・地元志向
- ・大学入学共通テスト、国公立5教科7科目、私立大3教科受験が主流
- ・総合型選抜(AO入試)、アラカルト入試の増加(早期受験日程・受験科目の減少)
- ・学校推薦型選抜(推薦入試)合格者の増大(50%枠)
- ・私立大学におけるネット出願の増加

《短大》 ・全体的に易化(短大人気低迷)

- ・保育士養成、福祉士養成、管理栄養士養成系学部に人気集中(難化)
- ・学校推薦型選抜(推薦入試)合格者の増大(100%枠)にともなう一般入試合格の難化

《専門》 ・高等看護学校の難化(大学卒業者の受験者増)

- ・優良専門学校選択の困難(要見学・要調査)
- ・無認可校の増加(要注意・専門士の称号の取得できない学校)

6. 2021年度以降の入試制度の変更点

① 2021年1月1日から「センター試験」は「大学入学共通テスト」に変わりました。1点刻みの評価となっています。英語の試験は「読む」と「聞く」の2技能となっています。

② センター試験との大きな変更点は次の2点です。

I マークシート式問題の見直し(学力の3要素を問う問題へ)が行われました。学力の3要素とは「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」のことを指します。具体的に何を求めているかを説明します。まず「知識・技能」と、基礎学力の評価のことです。基礎的な知識と技能の定着度を評価するために「高等学校基礎学力テスト(仮称)」が導入されます。高校生の基礎学力を確かめるために行うテストです。つまり、高校在学中に行われるテストということになります。「思考力・判断力・表現力」は何を評価するかというと、「応用力」の評価です。「自分の持っている知識・技能を、問題を解決するために活かすことができるか」、つまり「知識を応用する力」を評価するということです。「主体性・多様性・協働性」の評価とは、簡単にいうと「学ぶ態度」を評価するということです。主体性をもって他者と共働して学ぶ態度が評価されるわけです。

II 一部が段階別評価となります。

※ 記述式問題の導入、民間の資格検定の利用は見送りとなりました。しかしながら来年度以降も継続して検討の予定です。

③「AO入試」「推薦入試」「一般入試」の在り方が見直しと変更がなされ、多面的・総合的な評価となりました。それぞれの入試の変更点は以下の通りです。

I 「AO入試」は「総合型選抜」に名称が変わりました。出願も8/1以降から9/1以降に変更され、可否の発表も前者では設定されていませんでしたが、後者では11/1以降となりました。試験内容は各大学が定める評価方法(小論文、プレゼン、口頭試験、実技、各教科・科目の試験、資格・検定試験、成績など)、または大学入学共通テストの結果のうち最低一つが必須となります。また、本人の記載する資料(活動報告書、大学入学志望理由書、学修計画書など)が積極的に活用される予定です。

II 「推薦入試」は「学校推薦型選抜」に名称が変わりました。出願は11/1以降と現行通りです。発表は前者は設定なしでしたが、後者は12/1以降となりました。試験内容は総合型選抜と同様となります。

III 「一般入試」は「一般選抜」に名称が変わりました。試験実施時期は現行通りで、発表は3/31までとなりました。試験内容は「大学入学共通テスト」の積極的な活用がある予定です。問題も「思考力・判断力・表現力」を測る問題を導入しました。英語は「大学入学共通テスト」同様に4技能を重視しています。調査書が積極的に活用される予定です。調査書点として活用予定の大学もあります。

4. 入試方法について

(1) 大学入学共通テスト

大学入学共通テストは、センター試験における良問の蓄積を受け継ぎつつ、知識の理解の質を問う問題や、思考力、判断力、表現力を発揮して解くことが求められる問題を重視して作問されています。具体的には、授業において生徒が学習する場面や、日常生活の中から課題を発見し解決方法を構想する場面、複数の資料やデータ等をもとに考察する場面など、「どのように学ぶか」を踏まえた問題の場面設定が重視されます。また、これまでに身に付けた知識の理解や思考力を発揮できるかを問うために「教科書で扱われていない初見の資料等」を扱うものも出題されています。

大学入学共通テストの解答形式は、センター試験同様に「マーク式」のみですが、一部「解答が前問の解答と連動して正答の組み合わせが複数ある問題(連動型問題)」や「複数の解答を含んだ選択肢を用意する問題」など、新しい形式のものが出題されています。

国公立大を受験する場合

一般選抜受験者は全員大学入学共通テストを受験しなければなりません。今年度は科目による時間配分や配点の変更、問題の形式変更はありますが、基本的には、センター試験との大きな変更はありません。今までと同じように大学入試共通テストを一次試験とし、各大学が実施する2次試験(個別学力試験)との総合点で合否が決定されます。また、受験科目数は以前と同じように5教科7科目を課す大学が主流です。よって今後、国公立大の出願対象校を広く考えるなら、5教科7科目の受験が必要となります。

私立大を受験する場合

昨年度(令和4年度)の大学入試共通テスト試験利用率で見ると、全体の80%以上の私立大学がを利用した入試が実施されました。今後においてもこの傾向は変わらない予想です。

私立大の大学入学共通テストの利用方法は次の3つがあります。

- ① 一般選抜とは別の募集枠で、大学入学共通テストを行う場合
- ② 一般選抜の一部または全て、大学入学共通テストで代替可能な場合
- ③ 志願者全員に大学入学共通テストを課す場合

このうち、最も多いのが①のケースで、募集人員は全体の10%前後とする大学が一般的ですが、国公立大への流出を見込んで、合格者を多めに発表する大学もあるようです。一方で、募集定員が少ないこともあり、合格ラインも他の入試方法に比べ上がるので注意が必要です。

(2) 学校推薦型選抜(指定校制)(公募制) ※(詳しくは「学校推薦型選抜について」参照)

- ① 国公立大の学校推薦型選抜には、大学入学共通テスト課すものと免除するものがあります。募集人員は少なく出願条件も厳しいため、大学入学共通テストの有無にかかわらず、基礎学力が必要となります。
- ② 私立大の指定校制推薦入試は、大学から指定された高校からしか出願できませんが、合否については、学内選考をパスすれば合格というケースが多いようです。
- ③ 私立大の公募制推薦入試は、出願条件はゆるやかで募集人員も多くなっています。選抜方法は「書類、面接・小論文」が主流ですが、基礎学力は必要で、一般入試との「2段階受験」を考えたいものです。

【文科省の推薦入試改善方針】

- ① 選抜方法…従来の小論文や面接、調査書等による選考とする。
- ② 施時期…入学願書の受付は11月1日以降とする。
- ③ 募集人員…入学定員に対して四大5割、短大10割までとする。

(3) 国公立大 2 次試験

- ① 国立大は前期後期の分離分割方式で、「前期日程のみ」、「後期日程のみ」という大学・学部もあります。
- ② 大学によって、大学入学共通テストと個別試験の得点配分が異なります。各大学ごとによく調べておく必要があります。近年、難関国公立大では二次試験科目を増やす傾向にあり、二次試験重視に動いています。
- ③ 一般選抜では二次の記述試験対策が大切です。受験生は大学入学共通テストの成績を知ることが出来ないで、自己採点(大学入学共通テストの翌日実施)で二次試験への出願を決めます。

(4) 私立大入試

- ① 選抜方式は 3 教科型が中心ですが、2 教科以下の選抜方式を併用する“複線化”が進んでいます。ただし基本姿勢は「私立大は 3 教科」です。
- ② 地方試験、試験日選択制など、受験生の便宜をはかった制度が増えています。
- ③ 2 月の入試とは別に、3 月に B 日程・後期試験などという名称(名称は各大学によって様々)でさらに受験機会を増やす大学が急増しています。
- ④ 大学入学共通テストを利用する大学はさらに増える傾向にあります。
- ⑤ 「全学部日程入試」は全ての学部における統一日程、統一問題で行うもの。概ね、「全学部日程」は「一般入試」(または「個別日程入試」)よりも早い時期に行われるので、受験生にとっては、受験チャンスが「全学部」と「一般(個別)」の 2 回になり、さまざまな大学・学部を併願しやすくなるメリットがあります。一方、大学側は、受験生を多く確保できるので、受験料による収入増を見込むことができます。ただし、人数枠が少ないこと、合格には高得点を要するのが受験生にとってデメリットとなります。

(5) 専門学校入試

看護・医療系の専門学校以外の多くの専門学校では、入試に関して厳しいということはありません。すなわち、書類選考・面接試験により明確な志望動機・専門に対する興味関心を見るというのが一般的です。多くは資格取得・就職といった入口より出口に重点をおく傾向にあるようです。しかし、看護・医療系の専門学校(「看護・医療系の入試状況と展望」参照のこと)を含む一部の特異な分野に関してはその限りではなく、むしろ四大・短大入試よりも難しいともいわれていますので低学年次より着実に基礎学力を身につけていかなければなりません。

(6) 総合型選抜(AO 入試)

ここ数年、実施校が急増している選抜方法です。基本的には学力よりも、学ぶ意欲、その大学・学部への適性を重視する入試です。学術・文化・芸術・スポーツ・社会活動など、受験生の多様な実績、特技を評価して、書類審査と主に面接(数回)を中心として可否を判定する入試です。

(7) アラカルト入試

同じ大学・学部の一般入試を、2 つ以上の方式で実施して、受験生がその中から選んで受験できるスタイルです。科目の方式は、3 科目型のほかに、特定の 1~2 科目を重視するタイプや小論文を重視するタイプなどがあります。いずれにしても自分の得意な教科で受験できるので、受験しやすい方式ではありますが、少科目型入試では、当然、その科目の得意な受験生が集まるため、相当な得点力が要求されます。また、定員がいくつかの方式に分割されているため競争率が高めになることも多いので、3 教科を勉強することを基本として、あくまでチャレンジ的なものとして考えてください。

(8)受験上の留意点

- ① 各家庭で受験の意志・進学先について良く相談し、了承の上で出願する。
- ② 入試要項・資料は各自請求する。
- ③ 提出書類(推薦願・受験願・公欠願)は、余裕を持って担任に早めに提出すること。
- ④ 「学校長推薦」を受ける者は、校内基準(評定・部活動・素行)と出願校基準をともに満たすこと。また学校の代表である自覚を持ち、合格後も他の生徒の模範となる学校生活を送ること。
- ⑤ 受験準備は万全にしておくこと。(ゼミ・面接練習・受験科目のチェック etc.)

学校推薦型選抜(推薦入試)について

学校推薦型選抜(推薦入試)は、学校長の推薦を受けた者が受験し、書類審査や面接を中心に可否を判定する制度です。その意味では、「日頃の努力が試される制度」といえるでしょう。現在、国公立大学・私立大学ともに9割以上の大学で推薦入試を実施しており、募集枠も定員の 10%～50%とかなりの割合を占めています。

今日では総合型選抜(AO入試)を含めれば大学生の 4 割、短大生の半数以上は推薦入試による入学者だといわれています。とりわけ短大においては総合型選抜(AO入試)と学校推薦型選抜(推薦入試)を合わせて 80%～90%の割合を占めている学校もあります。短大希望者にとっては、推薦入試への出願は必須になりつつあります。

学校推薦型選抜(推薦入試)のメリットとして、通常の入学試験で課せられる試験科目が軽減、もしくは免除される場合が多く、一般入試よりも早い時期に可否判定が行われるため、受験生の負担が軽減されることが挙げられます。

一方で学校推薦型選抜(指定校制)の場合、合格したのちには入学を確約しなければならないことに加えて、大学を卒業するまで模範的な学校生活を送る必要があります。成績不振や学校生活に問題がある場合には本校の推薦枠の返上を迫られる場合があります。学校推薦型選抜(指定校制)は、その重みを感じて出願するようにしてください。

さらに、学校推薦型選抜(推薦入試)は合格時期が早いため、一般選抜合格者より学力が顕著に低いケースがあります。学力を維持させるために、合格後に入学前課題を課す大学や大学乳が宇共通テストを課す大学が増えてきています。

まずは自分自身が「推薦に値する人物か」、「推薦してもらえる実績、資格はあるか」、「選んだ学校は自分にとってふさわしいか」、「入学後の責任をしっかりと果たせるか」と自問してください。

また、近年、合格はしたものの生徒本人を取り巻く経済的な状況から入学や入学後の学生生活を送ることが困難となり、入学を辞退したいとの相談を寄せられるケースがみられます。どのような事情があれ、推薦入試においては入学が義務づけられています。出願前、いや、進路決定前の段階においてしっかりとした経済的な見通しを立てる必要があります。

合格後、入学後に多くの制約が課されることをふまえたうえで学校推薦型選抜(推薦入試)について考えてください。

推薦型選抜は、自己推薦などさまざまな種類が増えつつありますが、中心となっているのは「学校推薦型選抜(指定校制)」と「学校推薦型選抜(公募制)」の 2 つのタイプの入試です。

<学校推薦型選抜(指定校制)>

大学側が過去の合格実績や入学後の状況などを総合的に判断し、学校推薦型選抜(指定校制)の対象校を決めます。指定校制推薦依頼のあった高校において校内選考を通った者は書類審査・面接試験等でほぼ合格できますが、学科試験を実施する大学もあります。

また、看護系専門学校の中には指定校制推薦の名称を用いながらも、公募制推薦と同等の厳しさで入試を実施している学校もあります。

＜学校推薦型選抜(公募制)＞

原則として大学が定める推薦条件を満たしていれば出願できますが、同一高校 2 名以内というように人数制限をしているところもあります。また、大学あるいは学部・学科によっては人気が集中し、一般入試より厳しくなるところもあります。

ほとんどの大学で学力テスト・小論文・面接といった試験があり、指定校制推薦選抜とは異なり、合格を勝ち取るのは容易ではありません。

学校推薦型選抜を受けるには

1 出願資格を満たす

各大学の示す基準(評定平均値や出席状況)をすべて満たしていること。

- ※ 評定平均値とは高校 3 年間にわたるすべての科目の成績の平均値である。各科目の 1 学年から 3 学年の 1 学期までの評定を合計して、科目数で割った値(小数点第 2 位を四捨五入)である。
- ※ 評定平均値＝すべての科目の評定の合計点数÷すべての科目数
(1・2 年次では各学年の年度末の評定。3 年次では 1 学期末の評定で計算する)

学習成績概評(評定平均値)

A 段階 5.0～4.3 B 段階 4.2～3.5 C 段階 3.4～2.7 D 段階 2.6～1.9

2 校内の選考委員会の審査を受ける

選考委員会は出願条件に適合し、かつ、成績、本人の将来に対する考え、出席状況、生活態度などを審査して選考、決定する。推薦基準を満たしているか、推薦に値する人物かどうかを審査する。

最終的には、学校長の承認を得たうえで学校推薦型選抜に出願することになります。

※ 各学校の推薦基準(評定・欠席日数)をよく確認しておくこと。

選抜方法

書類審査(推薦書、調査書)、面接、小論文、学科試験などがある。

(パターンの例)

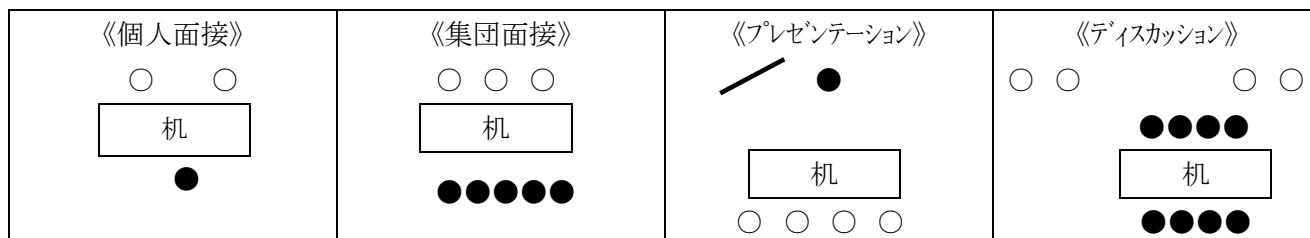
- | | |
|---------------|----------------------|
| ① 書類審査のみ | ④ 書類審査、面接、小論文、学科試験 |
| ② 書類審査、面接 | ⑤ 書類審査、面接、学科試験 |
| ③ 書類審査、面接、小論文 | ⑥ 書類審査、面接、実技試験(適性検査) |

学校ごとに異なるため募集要項などで、あらかじめ調べておくこと

面接試験について

1. 面接形態

- (1) 個人面接： 受験生を1人ずつ面接室に呼んで試験官1～2人が質問する形態。
- (2) 集団面接： 受験生数人を同時に面接室へ入れ試験官2～3人が質問する形態。
- (3) プレゼンテーション： 受験生が面接官の前でレポート発表を行う形態。
- (4) ディスカッション： 受験生数人がディスカッションを行い、面接官が観察する形態。 ○←試験官 ●←受験生



2. 質問事項

- (1) 進学・進路に関すること
 - ◇ 大学・学部・学科の志望の動機 ◇ 大学に入ってやりたいこと ◇ 卒業後の進路についてなど
- (2) 高校生活に関すること(調査書を見ながら)
 - ◇ 高校での成績, 得意科目, 不得意科目 ◇ 所属クラブやその活動
 - ◇ 出欠状況や欠席理由 ◇ 高校生活で得たもの など
- (3) 個人・家族に関すること
 - ◇ 自己PR, 長所短所 ◇ 趣味・特技 ◇ 尊敬する人物 など
- (4) 知識・教養に関すること
 - ◇ 時事問題や最近のニュースについて ◇ 最近呼んだ本, 感銘を受けた本 ◇ 人生観 など
- (5) 志望学科に関すること
 - ◇ 専門に関する基礎的な用語 ◇ 最近の傾向 など

最近では公正さを重視するために不適切と考えられた個人的な内容は避ける傾向にあります。

3. 面接対策

- (1) 進学に対する目的意識を明確にしておく
志望動機は必ず聞かれます。大学で何を学ぼうとしているのか、将来の目標を持っているのか、熱意があるのかが評価されます。また、「入学案内」をよく見て、建学の精神や学部・学科の特色を事前に調べておきましょう。
- (2) 時事・常識・志望学科の予備知識を持つ
ふだんから新聞・TVのニュースや書物などで、学科に関連する予備知識を持っておきましょう。
- (3) 態度・言葉づかいにふだんから注意する
ふだんから態度・言葉づかい等に注意し、敬語や丁寧語なども自然に使えるようにしましょう。
- (4) 面接の場に慣れること
先生・友人・家族を相手に何度も面接練習をし、面接のイメージをつかみましょう。その際、入室からの一連の動作もチェックしてもらいましょう。また、オンライン面接にも慣れておきましょう。

☆ 高校生活全般が問われるので、1年次より校内活動・校外活動に積極的に取り組み、自己のスキルアップ(技能の向上)に努めましょう。また、活動内容等の記録は保管しておき、必要に応じて担任に報告できるようにしておくことも必要です。

小論文試験について

1. 小論文の出題形式

(1) 課題型小論文

「志望動機」等、与えられたテーマについて自分の考えを論述するものです。かなり自由に書ける反面、論じる内容に自らの手で具体性を与えなければなりません。

(2) 課題文型小論文

「課題文型小論文」は、出題の主流派です。第一に必要な能力は、文章読解能力—それも主題把握の力です。筆者が力を込めて述べようとしている事柄・意見が、その文章のテーマです。課題文が英語の場合もあります。受験生は、それを見抜いた上で自分の意見を述べなければなりません。

(3) 資料型小論文

資料型小論文は、資料(グラフ、表など数学力を必要とするものもある)から問題とすべき事柄・テーマを読み取って、それについて自分の意見を書かせる形式です。

2. 段落の構成と制限字数・制限時間

(1) 文章の組み立て方には、基本的には次の二つの形式があります。

① 序破急(三段構成)

問題提起 ⇒ 問題の展開 ⇒ 結論

② 起承転結(四段構成)

問題提起 ⇒ 意見の揭示 ⇒ 問題の展開 ⇒ 結論

(2) 制限字数・制限時間

字数は、600 字～800 字程度(中には 1200 字という長文指定もあります。また、指定された字数が「程度」と「以内」では違うので注意しましょう)。時間は、50 分～80 分が標準です。

字数オーバーは0点扱いとなり、採点されません。最低でも制限字数の9割程度うめる必要があります。

3. 小論文採点のポイント

- (1) 与えられた課題を正しく理解しているか。
- (2) 原稿用紙の使い方・字数は適当か。
- (3) 論文として、論の組み立てができているか。
- (4) 自分自身の意見が述べられているか。
- (5) 文字づかいや言葉づかいに間違いはないか。
- (6) 文章の構成がきちんとまとまっているか。

4. 小論文対策

- (1) 学校の授業の中から、「題材」(ネタ)を探せるようにする。
- (2) 毎日の生活の中で、自己および自己の周囲の事柄をよく省察する。
- (3) 新聞を読んで政治や社会の問題について知識をつけるとともに、コラム・社説を要約する。
- (4) 優れた内容の書物をできるだけ多く読む。
- (5) 現代文の入試問題文を、知識を吸収するためのものとして活用する。

以上の点について、日頃から受験勉強の中に取り入れ、自分を豊かなものにしておかねばなりません。そして、とにかく早期に「書く」→先生に「見てもらう」ことの繰り返しが何よりも重要です。原稿を書いたうえで、「採点のポイント」に沿って推敲し、

より充実した内容の文章を目指してほしいと思います。

看護・医療系の入試状況と展望

近年、強い関心を集めているのが、保健・看護・医療系への進学です。栄養学系と同様に不況に強い職種であること、近づくつつある本格的な高齢化社会、自然災害や感染症などの傷病者対応において、豊富なニーズがあることなどが人気の要因です。看護・医療系のスタッフになるためには国家試験に合格し、資格を取得することが必要ですが、それらを養成する大学・短大・専門学校の入試では課される科目数が多く、一方で募集定員は少ないため、医療スタッフの不足が社会問題になっている今日でも決して入りやすい分野とはいえません。

1. 資格例とその概要

- ◇看護師……………健康障害や健康に不安を持った人たちへの援助をする。病気や障害で自分のことができない人たちの生活行動を助ける。
- ◇保健師……………地域に住む人々が、健康的な生活を送れるように保健指導をする。おもに保健所や市町村役場で活躍している。
- ◇助産師……………妊婦への保健指導、育児相談、分娩時の介助などがおもな仕事。病院の産科病棟、産婦人科の診療所などで活躍する。キャリアを積んで助産所開業も可能。
- ◇臨床検査技師………病気の診断や治療の方向づけ、病後の経過などを知るための臨床検査を実施する。おもな臨床検査に、血液検査、ウイルスなどに関する微生物検査などがある。
- ◇臨床工学技士………医師の指示のもとで生命維持管理装置を操作して、治療の補助をし、医療機器がつねに安全かつ有効に使えるように点検・管理などを行う。
- ◇理学療法士……………医師の指示のもと、身体に障害のある人に治療体操などの運動を担当し、温熱、寒冷水、電気、マッサージなどの物理的手段も加え運動機能の回復をはかる。
- ◇作業療法士……………運動機能や精神機能の回復をはかるため、作業種目(編み物、木工、園芸、ゲーム、スポーツ)を手段に医学的治療訓練をする。
- ◇歯科衛生士……………病院における看護師と同じ役割で、歯科医師の診療の補佐などを行う。
- ◇歯科技工士……………歯科医師の指示で、入れ歯や差し歯を作るプロフェッショナル。
- ◇視能訓練士……………斜視や弱視の矯正訓練と眼科検査(視力、色覚、光覚、屈折など)の諸検査を行う。

2. 看護医療系大学・専門学校の入試状況

- ◆ 看護師になるためには国家試験に合格することが必須となります。国家試験の受験資格は大学(4年)、短期大学(3年)、高等看護専門学校(3年)、准看護学校(2年)+進学コース(2年)の4つのパターンが基本です。大学の看護科の新設については、近年目立ってきています。
- ◆ 国公立大学は大学入学共通テストの受験が必要です。私立大学の多くは英語、数学、国語、理科の4教科かその中からの3教科選択となっています。その他、2次試験等で資格職としての人間性を問う面接・小論文が課される場合があります。また、短大・高等看護専門学校は私立大学と同じような入試形態です。
- ◆ 志願倍率は約6倍。推薦入試では、10倍を越える高倍率になる学校もあります。また、短大・高等看護専門学校では倍率5～6倍というところです。
- ◆ 看護系の短大や専門学校は3年間で看護の専門教育を学び、実習を行います。大学は4年間で1年間の余裕がありますが、すなわち、「人間について」「死について」「医療や福祉全般について」など、様々な問題点を見つけ、それについて学ぶなど、より進んだ学問的探究を行うことになります。

【参考1】四大・短大・専門学校学部学科一覧

四年制大学主要学部学科一覧

系	学部	学科
人文科学	文学	国文学 英文学 史学 地理学 哲学 美学美術史学 宗教学 人間科学
	人文学	人文学 人間科学 人間関係学 図書館情報学 国際学 比較文化学
	外国語学	英語 フランス語 ドイツ語 中国語 ロシア語 イスパニア語 アラビア語
社会科学	法学	法律学 国際関係法学 経営法学 政治学 国際政治学 行政学
	政治学	政治学 政治・行政学 政治政策学 国際政治学
	経済学	経済学 国際経済学 産業経済学 経営経済学 経済情報学 消費経済学
	商学	商学 不動産学 国際商学 貿易学
	経営学	経営学 会計学 経営情報学 情報管理学
	社会学	社会学 産業社会学 社会福祉学 福祉心理学 児童福祉学 医療福祉学
理学	理学	数学 数理学 応用数学 情報科学 計算機科学 物理学 宇宙物理学 天文学 地球物理学 応用物理学 物性学 地学 応用地学 地理学
工学	工学	電気工学 電子工学 情報工学 制御工学 物理工学 商船学 機械工学 土木工学 都市工学 建築学 船舶工学 航空宇宙工学 材料工学
農・獣医 畜産・水産学	農学	農学 農業工学 農芸化学 林学 林産学 醸造学
	獣医畜産	獣医学 畜産学 酪農学 畜産食品工学
	水産学	水産学 水産食品学 水産養殖学 漁業学 海洋生産学
保健	医・歯・薬学	医学 歯学 薬学 薬剤学 衛生薬学 生物薬学 製薬学
	栄養・保健学	栄養学 保健栄養学 保健学 保健衛生学 看護学 臨床検査技術学
家政学	家政学	家政学 児童学 住居学 被服学 食物学 生活科学 管理栄養士課程
教育	教員養成	教員養成課程(小学校, 中学校, 高等学校, 幼稚園, 特別支援学校, 養護教諭) 幼児教育学 初等教育学 児童教育学
	体育学	体育学 健康学 武道学 社会体育学 舞踏教育学 人間健康化学
芸術	音楽学	声楽 器楽 作曲 指揮 音楽教育
	美術学	美術 彫刻 絵画 工芸 デザイン
	芸術学	演劇学 放送学 写真学 建築学

その他	国際関係学	国際文化学 国際情報学 国際社会学
	人間関係科学	スポーツ科学 健康科学 スポーツマネジメント学

短期大学主要学科一覧

系	学 科
人文 教養	国文 英文 英語 文学 仏語 外国語 史学 仏教 神学 文芸 人文 日本文化 教養 国際教養 人間関係 コミュニケーション 情報コミュニケーション
社会 工業	法学 商学 貿易 経営 経済 商経 経営情報 社会福祉 児童福祉 観光 秘書 機械 自動車工業 電子工業 電気 情報処理 土木 建築 電子情報 建設 環境工学 応用化学 写真技術
農業	農学 園芸 造園 醸造 畜産 酪農 造園 林業 農業工学 環境緑地
家政	家政 栄養 生活 生活技術 食物 被服 生活環境 生活文化
保健	看護 衛生技術 保健 歯科衛生 診療放射線技術 環境衛生 理学療法 医用電子技術
教育	児童教育 初等教育 幼児教育 保育 体育
芸術	美術 デザイン 音楽 写真 生活芸術 美容芸術 音楽ビジネス

専修学校分野主要学科一覧

分野	学 科
工業	機械 土木 測量 建築 製図 自動車整備 航空整備 電気工事 電子工学 情報処理 メカトロニクス バイオテクノロジー 応用化学
農業	農業経営 園芸 菌類 食肉
医療	看護 臨床検査 診療放射線 歯科衛生 歯科技工 医学療法 作業療法 柔道整復 鍼灸
衛生	栄養士 調理師 製菓 衛生士 理容 美容
教育・福祉	幼児教育 保育 幼稚園教諭 初等教育 社会福祉 介護福祉
商業実務	ビジネス 秘書 簿記 会計 キャビンアテンダント 観光 ホテル 経営情報 速記
家政	服飾デザイン ファッション スタイリスト 着物 編物 和裁
文化・教養	英会話 社会体育 デザイン 写真 映像 音楽 演劇

【参考2】取得資格・受験資格について

大学卒で取れる資格と受験資格

【大学卒で取れる資格】

教員免許一幼・小・中・高・特別支援学校教諭一種、学芸員、司書、測量士補、栄養士、管理栄養士、食品衛生監視員、食品衛生管理者、児童福祉士、社会福祉主事、児童指導員、保育士

【大学卒で得られる受験資格】

国立国会図書館職員Ⅰ種、学芸員、警察官Ⅰ類、消防官専門系・Ⅰ類、消防設備士甲種、自衛隊幹部候補生、税理士、社会保険労務士、獣医師、医師、歯科医師、薬剤師、臨床検査技師、看護師、地方公務員上級、二級建築士、木造建築士、農業改良普及員、林業改良指導員

【大学卒後、実務経験で取れる資格】

測量士、林業架線作業主任者、電気主任技術者、建築物環境衛生管理技術者、廃棄物処理施設技術者、教護・救護

【大学卒後、実務経験で得られる受験資格】

自動車整備士三級、衛生管理者、危険物取扱者甲種、労働安全・衛生コンサルタント、ボイラー技士、一級・二級建築士、土木施行管理技士一級・二級、農業改良研究員、農業専門技術員、林業専門技術員

【大学卒業程度の資格試験】

国家公務員Ⅰ種、国税専門官、外務公務員Ⅰ種、労働基準監督官、裁判所事務官Ⅰ種、家庭裁判所調査官補Ⅰ種、司法書士、防衛庁職員Ⅰ種、核燃料取扱主任者、原子炉主任技術者、地方公務員、電気主任技術者

【大卒者に試験免除がある資格試験】

司法試験、公認会計士、弁理士、不動産鑑定士、技術士補、火薬類製造保安責任者、海技従事者、無線通信士一級、無線技術士一級、林業架線作業主任者

短大卒で取れる資格と受験資格

【短大卒で取れる資格】

教員免許一幼・小・中・養護教諭二種、司書、毒物劇物取扱責任者、栄養士食品衛生管理者、社会福祉主事、保育士

【短大卒で得られる受験資格】

国立国会図書館職員Ⅱ種、高等学校助教諭免許状、税理士、社会保険労務士、二級建築士、木造建築士、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士、診療放射線技師、臨床検査技師、看護師、農業改良普及員、林業改良普及員

【短大卒後、実務経験で得られる受験資格】

学芸員、自動車整備士二級、労働安全・衛生コンサルタント、ボイラー技士、危険物取扱者甲種、一級建築士、土木施行管理技士一級・二級、視能訓練士、管理栄養士、生活改善専門技術員、農業改良研究員、農業専門技術員、林業専門技術員

【短大卒業程度の資格試験】

国家公務員Ⅱ種、外務省専門職員採用試験、防衛庁職員Ⅱ種

【短大卒業者に試験免除がある資格試験】

無線通信士二級, 無線技術士二級, 公認会計士

専修学校で取れる資格と受験資格

【専修・各種学校卒で取れる資格】

保育士, 幼稚園教諭二種, 小学校教諭二種, 中学校教諭二種, 栄養士, 社会福祉主事, 調理師,
電気主任技術者二種・三種, 電気工事士, 特殊無線技師, 測量士補

【専修・各種学校卒で取得できる受験資格】

航空従事者, 海技従事者, 無線通信士一級・二級, 無線技術士一級・二級, 自動車整備士二級,
自動車整備士三級, 危険物取扱者甲種, ボイラー技士二級, 一級・二級建築士, 歯科衛生士,
歯科技工士, 診療放射線技師, 臨床検査技師, 視能訓練士, 理学療法士, 作業療法士, 看護師,
准看護師, 助産師, 保健師, あん摩マッサージ指圧師, はり師, きゅう師, 柔道整復師, 製菓衛生師,
理容師, 美容師

【専修・各種学校利用で有利な資格試験】

司法書士, 公認会計士, 税理士, 簿記検定, 不動産鑑定士, 土地家屋調査士,
宅地建物取引主任者旅行業務取扱主任者, 通訳案内業, 情報処理技術者, トレース技能検定,
英文・和文タイプ検定

【参考3】 令和5年度 大学入学共通テスト出題教科・科目

教科(時間・配点)	出題科目・選択方法	
国語 (80 分・200 点)	「国語総合」の内容を出題範囲とし、近代以降の文章、古典(古文、漢文)を出題	
地理歴史 〔1科目は 60 分・2科目は 130 分 (うち解答時間 120 分)・1科目 100 点〕	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」『倫理, 政治・経済』から最大2科目 を選択。ただし、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択する ことはできない。なお、受験する科目数は出願時に申し出ること。	
公民 〔1科目は 60 分・2科目は 130 分 (うち解答時間 120 分)・1科目 100 点〕		
数学① (70 分・100 点)	「数学Ⅰ」『数学Ⅰ・数学A』から1科目選択	
数学② (60 分・100 点)	「数学Ⅱ」『数学Ⅱ・数学B』簿記・会計『情報関係基礎』から1科目 選択	
理科① (2科目選択 60 分・100 点)	「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」	左記出題科目の8科目のうちから 下記のいずれかの選択方法により 科目を選択し、解答する。 A 理科①から2科目 B 理科②から1科目 C 理科①から2科目及び理科②か ら1科目 D 理科②から2科目 なお、受験する科目の選択方法 は出願時に申し出ること。
理科② 〔1科目は 60 分・2科目は 130 分 (うち解答時間 120 分)・1科目 100 点〕	「物理」「化学」 「生物」「地学」	
外国語 (リーディング 80 分・100 点) (リスニング 60 分(うち解答時間 30 分)・100 点)	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択。 ＊リスニングは「英語」のみ。「英語」は、「コミュニケーション英語Ⅰ」 に加えて「コミュニケーション英語Ⅱ」及び「英語表現Ⅰ」を出題範囲 とする。	

奨学金について

まず、奨学金についての基本的なことです。奨学金は**給付型**と**貸与型**の二種類あり、場合によっては併用も可能です。**給付型**はお金を返す必要がありませんが、**貸与型奨学金**に関してはあくまでも学費や生活費などのお金を借りる制度であり、借りた額は必ず将来返還する義務があるということを確認して欲しいと思います。**貸与型奨学金**は将来みなさまが就職した後に、毎月給料から天引で借りた額に応じて返還していくことになります。繰り上げ返済も可能ですが、それをしない場合は**30代後半まで返還し続ける**ことになります。何が言いたいのかというと、「奨学金を借りる＝借金を背負う」ということです。だからこそ、借りる際は親とよく相談をして額を決めて欲しい（できれば少額が望ましい）と思います。もし安易な考えで奨学金を借りてしまうと、将来、自分で自分の首を絞めてしまう可能性があるということを、よく考えて欲しいと思います。必ず事前に進学する専門学校・大学・短大の入学金や学費、県外での生活費などを調べた上で貸与額を決めてください。

下記の説明は、あくまでも「日本学生支援機構」の例ですが、参考にいただければと思います。

奨学金制度とは何か？

ステップ1 「給付型」と「貸与型」

奨学金には「給付型」と「貸与型」の二種類あります。

「給付型」は支給された奨学金を返済する必要はありません。「貸与型」の奨学金は通常進学した学校を卒業後、一定期間内に返還しなければなりません。残念ながら日本の奨学金は、ほとんどが「貸与型」の奨学金です。奨学金の代表的なものに、日本学生支援機構の奨学金制度があります。



ステップ2 日本学生支援機構（旧：日本育英会）の奨学金

最も知られていて、最も利用しやすい進学資金調達の手段として国が実施する奨学金である**日本学生支援機構（JASSO）の奨学金**があります。

専門学校・大学・短大への進学や高等専門学校への編入学を目指す学生が対象であり、日本では学生が一番利用しています。日本学生支援機構の奨学金は、学生本人が貸与し、卒業後、学生本人が返還していくものです。



ステップ3 日本学生支援機構の奨学金には、どのような種類があるのか

【 給付型 】

原則返還不要な「給付奨学金」があります。

3年間の評定平均値「3.5」以上と各家庭の経済状況が審査対象になります。評定平均値が「3.5」を下回る場合でも、強い学修意欲を有していると判断されれば、給付が認められることがあります。また、家庭の経済状況においては、**収入基準**と**資産基準**の二つの基準が設けられています。対象家庭は収入基準によって第1区分～第3区分まで分けられていますが、詳しい基準は日本学生支援機構のHPを参照してください。

（日本学生支援機構：<https://www.jasso.go.jp/index.html>）

○ 支給額 ○

区分・学校の設置者（国公立か私立か）・通学形態によって給付額が異なります。

【国公立の場合】

区分		自宅通学	自宅外通学
大学 短期大学 専修学校(専門課程)	第1区分	29,200円 (33,300円)	66,700円
	第2区分	19,500円 (22,200円)	44,500円
	第3区分	9,800円 (11,100円)	22,300円
高等専門学校	第1区分	17,500円 (25,800円)	34,200円
	第2区分	11,700円 (17,200円)	22,800円
	第3区分	5,900円 (8,600円)	11,400円

【私立の場合】

区分		自宅通学	自宅外通学
大学 短期大学 専門学校(専門課程)	第1区分	38,300円 (42,500円)	75,800円
	第2区分	25,600円 (28,400円)	50,600円
	第3区分	12,800円 (14,200円)	25,300円
高等専門学校	第1区分	26,700円 (35,000円)	43,300円
	第2区分	17,800円 (23,400円)	28,900円
	第3区分	8,900円 (11,700円)	14,500円

【 貸与型 】

利息の付かない「第一種奨学金」と、利息の付く「第二種奨学金」があります。また、入学時の一時金として利息付きで貸与する「入学時特別増額貸与奨学金」があります。

「第一種」・「第二種」共に三年間の評定平均値と各家庭の経済状況が審査対象になります。「第一種」より「第二種」の方が審査基準は緩やかになりますが、いずれにしろしっかり高校生活を頑張らなければ奨学金を借りることはできません。

返還の際、「第二種奨学金」の利率は、経済・金融情勢により変動しますが、法令により年3%を上回ることはありません。「固定金利型」と「変動金利型」の選択が可能です。

第一種と第二種を併用することもできますが、審査基準が厳しい上に将来の返済額も多額になってしまうため、おススメはできません。

また、入学月の貸与額に100,000～500,000円を増額できる入学時特別増額という制度もあります。（入学前の貸与ではありませんので、入学金として使用することはできません。）

○ 第一種奨学金 貸与額（大学）○

【通常の月額】

（単位：円）

区分	自宅	自宅外
国公立	20,000、30,000、45,000	20,000、30,000、40,000、51,000
私立	20,000、30,000、40,000、54,000	20,000、30,000、40,000、50,000、64,000

○ 第一種奨学金 貸与額（短大）○

【通常の月額】

（単位：円）

区分	自宅	自宅外
国公立	20,000、30,000、45,000	20,000、30,000、40,000、51,000
私立	20,000、30,000、40,000、53,000	20,000、30,000、40,000、50,000、60,000

○ 第一種奨学金 貸与額（専門）○

【通常の月額】

（単位：円）

区分	自宅	自宅外
国公立	20,000、30,000、45,000	20,000、30,000、40,000、51,000
私立	20,000、30,000、40,000、53,000	20,000、30,000、40,000、50,000、60,000

○ 第二種奨学金 貸与額 ○

大学：月額 20,000 円～120,000 円（10,000 円刻み）

※1 私立大学の医・歯学の課程の場合、120,000 円に 40,000 円の増額が可能。

※2 私立大学の薬・獣医学の課程の場合、120,000 円に 20,000 円の増額が可能。

短期大学：月額 20,000 円～120,000 円（10,000 円刻み）

専修学校（専門課程）：月額 20,000 円～120,000 円（10,000 円刻み）

詳しくは日本学生支援機構の HP を参照してください。

（日本学生支援機構：<https://www.jasso.go.jp/index.html>）



ステップ4 奨学金はい、どうやって申し込めばいいのですか

予約採用という方法で申し込みます。大学・短大・専門学校への入学前に、高校で申し込む方法です。高校在学時（3年生）に申し込みます。

※ 募集の詳細は教務部奨学金担当の先生にお問い合わせください。

※ 高校生は3年次にしか申し込むことができません。

【 主な留意点 】

- ・進学先が確定していなくても申し込むことができます。
- ・奨学金採用決定後に取り消しも可能です。
- ・貸与開始は5月です。

※両親の「所得証明書」や「非課税証明書」、「マイナンバー」などの多数の書類が必要になりますので、指定された書類を必ずご用意ください。

【 募集期間 】

4月～6月

【 予約採用（入学前）手続きの流れ 】

- ① 高校から申し込み関係書類等を受け取る
- ② 申し込み手続き
 - ・インターネットで申し込み情報を日本学生支援機構に送信
 - ・日本学生支援機構にマイナンバーを提出
 - ・高校に申し込み書類を提出
- ③採用決定・出願
- ④合格・進学後、インターネットで進学届を日本学生支援機構に送信
- ⑤奨学生の採用通知 → 奨学金支給開始（5月）

※予約奨学生の採用通知書とその他の書類は、進学後に再度各進学先申し込みを行う際に必ず必要になりますので、無くさないで保管しておいてください。

【 最後に 】

上記の説明はあくまでも、日本で一番知られている「日本学生支援機構」の例です。その他、例えば各新聞会社が主宰する「新聞奨学生」や、各進学先の学校が独自に行っている奨学金制度（学校要項に記載されている場合有り。利子などは要確認です）、各市で毎年 20 名前後限定で行っている奨学金制度（神栖市・鹿嶋市は確実にやっており、無利子です。無利子なので、もしかすると、日本学生支援機構より、評定基準などのハードル高いかもしれません。各市役所で御確認ください。）など選択肢は様々ありますので、検討してみてください。

承 認 印	校 長	教 頭	教 務	進 路	学年主任	担 任

(進学用) 公 欠 願

令和 年 月 日

茨城県立波崎柳川高等学校長 殿

3年 組 番 生徒氏名 _____

保護者氏名 _____ 印

下記の学校を受験しますの、公欠の承認をお願いいたします。

受 験 校 名			
学部・学科	学部	学科	専 攻 (コース)
受 験 日	令和 年 月 日 ()		
公欠扱い期間	令和 年 月 日 () から 月 日 () まで 日間		
試 験 会 場 (所 在 地)	都 道 府 県	区 市 郡	
利用交通機関 (経路順に記入)			
宿 泊 先	()		
所 在 地	都 道 府 県	区 市 郡	
※宿泊の場合 のみ記入	(連絡先の電話番号 — —) ※携帯電話の番号も可		

※近距離の場合は受験当日のみとする。遠距離の場合は受験前日から受験当日までとする。

受験後は必ず「受験報告書」を提出すること。

進学用

推薦審議申請書

私は下記の学校の推薦入学試験に応募したいので、審議をお願い致します。

第3学年 組 番 氏名 _____ 印

保護者 氏名 _____ 印

受 験 校 名	学 部	学 科	推薦入学出願受付期間	合格発表日	合 否

参考；評定平均値：受験校の推薦基準【 有 ・ 無 】（ . ）以上

受験者の評定平均値（ . ）→担任が記入

短期大学・専門学校は学科・専攻を書くこと。

必 要 書 類	調 査 書	推 薦 書	そ の 他	書類作成希望日	備 考

（必要書類には○印をつけること）

《厳守事項》

1. 各大学・短大・専門学校で独自に推薦基準を定めているので、該当するか否か調べること。
2. 推薦審議申請書は、出願予定日の少なくとも2週間前までに担任へ提出すること。
3. 推薦での合格が決定した場合には、必ずその学校に入学手続きを取ること。
4. 推薦入学決定者には、他校受験のための調査書は発行しない。
5. 推薦入学の結果が判明しなければ、他校への推薦はしない。
但し、併願を認めている学校についてはこの限りではない。

備	
考	

校長印	教頭印	審議印

推薦書

発行番号 _____ 発行日 _____ 月 _____ 日

校		教		進		主		担	
長		頭		路		任		任	

進 学 用 調 査 書 発 行 願

下記の通り受験手続きをしたいと思いますので、調査書の発行をお願い致します。

3年_____組_____番 氏名_____

保護者 氏名_____ 印

校長	教頭	進路	主任	担任		総合	推薦	一般	受験校名	学部	学科	出願期間	受験日	発表日	推薦書	備考	発行番号	発行日	合否
					1										有・無				
					2										有・無				
					3										有・無				
					4										有・無				
					5										有・無				
					6										有・無				
					7										有・無				
					8										有・無				
					9										有・無				
					10										有・無				

1. AO・一般の欄は該当する方に○を記入すること。「推薦」の欄はその種類を記入すること（公募制・指定校・運動・自己など）。（注）記入はすべて黒のボールペンを使用
2. 学校名・学部・学科は正しく記入すること。短大は、専攻名がある場合、学科名は「学部」欄へ、専攻名は「学科」欄へ記入すること。学科のみは「学科」の欄に記入すること。
3. 受験日・発表日は正確に記入すること。
4. 合格の場合は○を、不合格の場合は×を合否の欄に記入すること。入学手続きをする学校には「合否」の欄に◎を記入すること。
5. 備考の欄には、次の項目について記入すること。

(1) 入試方法……本学試験・地方試験の区別、Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期試験の区別、科目別試験（1科目試験・2科目試験等）、センター試験等、該当するものを正確に記入すること。

(2) 推薦入試で併願する場合は、必ず併願と記入すること。

《面接質問事項》

● 面接のチェックポイントは何か。

- 志望動機・校風の理解 ○専攻分野の適性 ○入学後の抱負・将来への目的 ○人物・人柄
- 基礎的な判断力・表現力 など

● 面接ワンポイントアドバイス

- はきはきと明瞭に答える。 ○受験校についてはよく調べておく。 ○過去の入試報告を見ておく。
- 志望の動機から高校生活・社会問題に至るまで質問される。
- ◎普段の学習を大切に、新聞等読んで視野を広めておくこと。

(1) 基本質問事項(志望の動機は必出) 練習のため記入して先生に見てもらいましょう。

1	なぜ本学を志望しましたか。
2	なぜこの学部(学科)を志望しましたか。
3	将来どのような職業につきたいと思いますか。
4	学校生活で得たものは何ですか。
5	どのような課外活動をしていましたか。
6	高校時代で一番印象に残ったことは何ですか。
7	得意な(好きな)科目・不得意(嫌いな)科目は何ですか。
8	あなたの学校の校風を教えてください(学校の特色は)。
9	なぜ、推薦入試を希望したのですか。
10	自己PRをしてください。
11	あなたの趣味は何ですか。
12	あなたの長所(短所)について聞かせてください。
13	最近関心を持ったニュースは何ですか。
14	もしも不合格になったらどうしますか。

(2) その他の質問事項

1 入学してから取得したい資格は何ですか。

2 オープンキャンパスには参加しましたか。

3 将来の夢は何ですか。

4 大学に入ったら勉強以外で何をしたいですか。

5 大学ではなく短大を選んだ理由は何ですか。

6 最近の高校生の服装についてどう思いますか。

7 携帯電話の功罪について。

8 コンピュータを使ったことはありますか。

9 部活動と勉強の両立の仕方について。

10 住んでいる町のこと。

(3) 専門別質問事項 専攻分野の基礎知識を問われたり、法則の説明を求められたりすること多い。

(自分の専門分野についてノートにまとめて先生に見てもらいましょう。)

文学部 入学後はどんな分野を専攻しますか。

最近読んだ本の感想を聞かせてください。

★専攻を志望している学科に関係のある本の読書歴とその感想を問われる。

外国語 外国人とはどのような機会に接してきましたか。

国際 大学で外国語を学ぶ目的は何ですか。

日本の英語教育をどう思いますか。

実用英語の必要性が叫ばれていますがどう思いますか。

★外国語を学ぶ目的と動機を明確にしておく。

法学部 あなたの将来の希望職種と専攻学科の関連性について教えてください。

法律に関心を持ち始めたのはいつ頃ですか。

死刑制度についてあなたはどう思いますか。

裁判員制度についてあなたの考えを教えてください。

経済学部	社会科の中で得意なものは何ですか。
商学部	大学ではどのようなことを学びたいですか。
情報	情報化社会とはどのような社会ですか。 日本の国際化をどう思いますか。 ★これらの質問が予想されるので新聞等をよく読むようにしておく。 ★社会の動きにどれだけ関心があるかを問われる。
理工学部	理科の中で得意な(好きな)科目は何ですか。 実験は好きですか。 産業発展と自然保護についてどう考えますか。 原子力発電についてあなたの意見を述べてください。 ★適性と基本的素養が試されることが多く専門的事柄も聞かれる。
水産学部	最近の農業(水産業)の状況をどう思いますか。
農学部	コメについてあなたの意見を聞かせてください。 人間と自然の共存についてあなたの意見を聞かせてください。 世界の食糧危機についてあなたの意見を聞かせてください。
獣医	クローン技術の功罪について、あなたの意見を聞かせてください。 リサイクルについてあなたの意見を聞かせてください。 ★現代の農業・漁業が抱える問題の背景や原因について新聞等で勉強しておく。
教育学部	教師を志望した動機は何ですか。 不登校やいじめについてどう思いますか。 どのような教師が信頼されると思いますか。 ★教職を志望する動機と理想の教師像について聞かれる。
芸術学部	どのような画家(作曲家)が好きですか。 あなたの得意な分野は何ですか。
保健 医療	自分のどのようなところに適性があると思いますか。 看護師にとって大切なものは何ですか。 少子高齢化についてあなたの意見を述べなさい。
家政 保育	現代の高校生の服装をどう思いますか。 子供のどのようなところが好きですか。 自分のどこが保育士に向いていると思いますか。
福祉	高齢者問題についての意見を聞かせてください。 ボランティア活動の経験はありますか。
栄養	食の安全対策についてあなたの意見を述べてください。

これ以外の質問も多数あります。志望校の過去問をよく調べて、傾向と対策を万全にしてください。

「自分を信じて」

東海大学 体育学部 競技スポーツ学科
島田 湧大 (3年A組)

私は、東海大学に総合型選抜指定クラブ型で合格することができました。

私が東海大学を志望した理由は二つあります。一つ目は、私は高校から陸上競技のやり投げを本格的に始め、インターハイ四位、国体七位の結果を残しましたが、まだまだ高みに行くことができたので大学でも競技を続けようと思ったからです。関東圏内で大学探しをしていたところ、東海大学の陸上競技部の投擲コーチから声を掛けていただき興味を持ち、東海大学の環境や指導者の良さを知ることができました。特に最新の陸上競技場や日本トップクラスの設備や広さを誇るトレーニング施設は魅力的で、素晴らしい指導者から最先端の指導を受けることができると思いました。投擲選手はスピードや跳躍力、特に強い筋力などの瞬発的体力が必要とされているので、身体作りはとても重要です。私は高校に入ってから体重が二十キロ増えましたが、まだまだトップ選手とは体格差があります。東海大学の投擲コーチはもともと細身だった身体を大学で四十キロの増量に成功した方だと伺い、この人の下で学びたいと強く思いました。二つ目は、競技スポーツ学科でスポーツを学びたいと思ったからです。私は心の底からスポーツが好きなので、四年間でいろいろなスポーツの知識や技能、指導法について実践を通して磨きたいと思いました。

私の受験方法は、小論文と面接と口述試験でした。面接練習はとりあえず数をこなせば大丈夫だと思います。始めのうちは照れ笑いをしてしまったり、緊張で硬くなり何と答えて良いかわからないこともあるかと思いますが、繰り返すことで慣れてきて話せるようになります。本番は楽しく面接ができました。自分を信じれば意外とほとほとどの緊張で受験できると思います。自信がない人はとにかく反復練習あるのみです。自分を信じて頑張ってください。

「コツコツ努力すること」

つくば医療大学 保健医療学部 臨床検査学科
荒谷 和 (3年A組)

私は、つくば国際大学を学校推薦型公募制選抜で受験し合格することができました。

進学したいと考えていた私は、高校に入ると同時に一年生から三年生までの成績を高い水準で維持しようと考えました。また、中学生の時には検定を一つも取得していなかったので様々な検定を受けようと目標を立てました。高校2年生になり、臨床検査という分野で学びたいという気持ちが明確になったので、そこに向かい努力を続けるようになりました。英検や漢字検定などの資格は確実に取得していきました。二年生の夏には初めてオープンキャンパスを経験し、自分が行きたい大学の絞り込みを始めましたが、簡単には決まりませんでした。

将来のことなので、悩みながら熟慮検討を重ねた結果、高校三年生の受験ギリギリで志望校を決定することができました。そこからの私は自分を褒めたいぐらいに頑張ったと思います。遅れを取り戻すために私は学校でも自宅でも対策を続けました。学校推薦型選抜公募制なので、倍率もあり、また小論文や苦手な面接もあります。小論文は夏休みから先生に特訓してもらいました。面接練習についても他の人たちよりも早めに始めました。その甲斐もあり第一志望のつくば国際大学に合格することができました。自分が苦手なことばかりで、練習も対策も本当に辛かったですが、受験を終えた後の達成感は何とも言えないものがありました。また、これまで支えてくだ

さった先生や両親に対して感謝の気持ちでいっぱいになりました。

受験期になると不安な気持ちが常にあり自信を失いかけてますが、自分が今まで続けてきた努力は絶対にプラスになっていると思いますので、自分を信じて受験を乗り越えることができるよう頑張ってください。

「小さな努力」

麗澤大学 外国語学部 外国語学科
山本 春乃

私は麗澤大学に学校推薦型選抜指定校制で合格することができました。私は将来英語を使う仕事をしたいと思っており、高校二年生の頃から外国語学部のある大学に進学したいと真剣に考え始めました。麗澤大学のオープンキャンパスに参加した時、とても外国語に力を入れている学校だということを感じぜひ学んでみたい第一志望の大学となりました。今では合格することができ、本当に幸せに思っています。

受験方法は、先生に勧められていた、学校推薦型選抜指定校制を選択しました。指定校推薦は三年間の評定平均値が基準を満たしていなければ受験することができません。私は一年生の頃から、特に授業を大事にし、定期テストや課題にしっかり取り組み、良い成績をキープすることを心掛けてきました。また、二年以上一日二ページ自主学習を続けることによって、努力を継続する力が身に付いたと思っています。

私が苦労したことは、英語検定の取得です。麗澤大学の外国語学部の英語リベラル・アーツ専攻は、英語検定準二級の資格を持っていることが条件でした。私が進学先を麗澤大学に決定したのは高校3年生になった春のことでしたので、そこから受験までに英語検定準2級を取得するのは本当に大変でしたし、辛かったです。少しでも英語検定受験の機会を増やすために東京の会場に足を運んで受験することもありました。高校生活で一番大変な時期でしたが、努力した甲斐もあり無事合格できました。

最期に、受験を控えている在校生の皆さんへのアドバイスです。自分の将来やりたいことややりたいものが今はまだ決まっていなくても、小さな努力をし続けてください。いつか役に立つ時が必ず来ます。応援しています。

「二つの夢」

大正大学 文学部 日本文学科
大石 百夏（3年A組）

私は大正大学にスポーツ特別入学試験で受験し合格することができました。

私が大正大学を志望した理由は、二つの夢を叶えるためです。一つは、高校で取り組んできたカヌー競技を大学でも続け、インカレに出場し上位入賞することです。もう一つは日本文学科で学び国語の教師になることです。この二つの大きな夢を叶えるためにこれからの大学生活を頑張ろうと思っています。

高校生活ではカヌーや学校生活は悔いなく送ることができましたが、やはり受験は大変でした。私は大正大学に合格するために特に日々面接練習に時間を費やしました。不慣れなうちは言葉が上手く出てこない時がありましたが、先生方と練習を重ねアドバイスをいただいたおかげで、言葉遣いや受け答えが上達していきました。

そして自信をもって本番を迎えることができました。受験当日の面接では、常に笑顔でいることを心掛けました。傾く時や話を聞く時も笑顔でいることで、面接官の先生方も穏やかに対応していただくことができました。極端な緊張もなくお互いに良い雰囲気面接を終えることができましたと思います。

面接ではいかに短くかつ自分の考えていること、自分の魅力を伝えるかがとても重要になります。これほど簡単なことのように感じてとても難しいことです。自分の予想していない、練習していない質問が飛んできます。それに対し上手く答えることができなかったとしても、笑顔で落ち着いて話すことができれば大丈夫です。実際に私の面接では予想していなかった質問がいくつもあり、的確な回答ができた自信はありませんが、笑顔でいることで入試独特の雰囲気に飲み込まれずにやり切ることができました。面接では言葉遣いは勿論ですが、笑顔を意識すると良いと思います。

最後になりますが、自分になりたい、したいと思えることがあるならだれになにをいわれようと、自信を持ちその道に進んで下さい。自分の人生なので、自分の納得のいく人生を選んでください。応援しています。

「後輩の皆さんに伝えたいこと」

千葉科学大学 危機管理学部 危機管理学科
宮内 飛侑（3年A組）

私は第一志望である千葉科学大学の総合型選抜で、危機管理学部の特待生として合格することができました。そのポイントとなったことを幾つか挙げたいと思います。

まず、私が高校生活で努力したことは部活動です。カヌー部の部員として最後まで全力で活動しました。次に学校の遅刻や欠席は極力しないということを意識して生活しました。これらをベースに、大学受験の対策をとって臨みました。

私が利用した入試方式は千葉科学大学独自の自分推しチケットです。対象になる人は、自分の夢に対して明確な意欲を持っている人です。私は幼い頃から消防官になりたいと考えていたため、この制度を使うことにしました。受験方法はオンライン面接と書類選考でした。私はかつて一度も面接に臨んだことがなかったため、面接の準備にはとても苦労しました。しかし、夏休み中毎日学校に通い、先生方に面接指導をしていただき回数を重ねるごとに自分の上達を実感できるようになっていきました。そのお陰で面接本番では緊張もなく、今までやってきた練習のように自分のやりたいことや目指したいことをはっきりと伝えることができました。結果、特待生としての合格につながったと思います。

私は波崎柳川高校の後輩の皆さんに伝えたいことがあります。それは自分の夢をしっかりと持つことです。夢を持つことで、自分の行きたい学校ややりたい職業をしっかりと早い段階で考えることができます。また、進学・就職ともに受験対策は早めに取り組んだ方が良いと思います。私は面接練習がギリギリになってしまいましたが、できればもっと余裕を持ってやったほうが良いと思います。進路へ向けて努力することは簡単ではありませんが、強い気持ちを持って前へ向かっていきましょう。これからも皆さんを陰ながら応援しています。頑張ってください。

「当たり前と夢」

旭中央病院附属看護専門学校
太田 一摩（3年A組）

私の夢は、看護師になってたくさんの人の心を支えることです。その手目に私は高校生活において様々な活動に取り組んできました。その活動の中で自分には何ができて何ができなかったかを知る機会を増やすことができました。

人それぞれに当たり前ということには幅や違いがあります。私は当たり前を心掛けて高校生活を過ごしてきましたが、私にとっての当たり前は苦手な勉強で良い成績を取ることや校内活動であったと思います。高校生活において成績というものはとても重要視されるものですが、どちらかというと辛さを伴うものです。進路のためにと学習に勤しんできましたが、正直その瞬間は苦しかったです。しかし、私を支えてくれる友人や家族の笑顔や楽しかった記憶を思い返し、これから向かう先にそうした人達の笑顔が待っている、自分も楽しめると思うと頑張ることができました。そして私は、私以外の人達の笑顔を崩すことなく支えたいという思いを広げ、看護師になるという夢に向かっていきます。私にとって当たり前なことというのは、夢を持ち、何をしたいかを考え、実現するために辛いことであっても乗り越えるために行動していくことだと思います。大人になってもそれは変わらないと思います。高校三年間というものは、長いようですぐ過ぎ去ってしまうものです。在校生の皆さんは残りの高校生活で自分の夢や目標を是非とも見つけてください。

最後になりますが、波崎柳川高校の先生方は本当に優しい人ばかりです。何か困ったことがあれば大人の力を借りることも必要です。実際、私も先生方によく相談に乗っていただきお世話になりました。また、沢山の経験をさせていただきました。皆さんも先生方を頼ってみてください。